

# 第1学年 英語科 学習の指針（シラバス）

## 1. 学習の目的（教科の目標）

- (1) はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができるようになる。
- (2) 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようになる。
- (3) 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようになる。
- (4) 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができるようになる。
- (5) 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようになる。

## 2. 学習計画

| 学期      | 学習内容   | 学習のねらい   |   |
|---------|--|--|---|
| 1<br>学期 | Unit 0<br>Nice to Meet You<br><br>Grammar for<br>communication 0       | ●小学校で習った英語表現の意味・用法, アルファベットの名前と音や, 大文字・小文字について理解し, あいさつをしたり, 好きなものなどをたずねたり答えたりする。<br>●アルファベットの名前と音を発音することができる。英語の語順について, 日本語の違いを意識して理解する。  |   |
|         | Unit 1<br>Hello, Everyone!   | ●be 動詞や一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解し, おたがいの名前や好きなものなどについて, 考えや気持ちを, 簡単な語句や文を用いて即興で伝えたり, たずねたり答えたりする。   |   |
|         | Unit 2<br>Our New Teacher<br><br>Grammar for<br>Communication 1        | ●He [She] is ...や助動詞 can, This [That] is ...を用いた文の形・意味・用法を理解し, 身近な人のことやできること, どのようなものかについて伝えたり, たずねたり答えたりする技能を身につける。<br>●be 動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解し, 自分や相手, 身近なものについて, 状態や習慣などを伝える技能を身につける。         |   |
|         | Unit 3<br>Our School<br><br>Grammar for<br>Communication 2             | ●疑問詞 what や who, how や when, where を用いた疑問文の形・意味・用法を理解し, 疑問に思うことを解決したり, 知らないものや人について知るために, ものや人, 方法や時, 場所について, 簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりする技能を身につける。<br>●疑問詞を用いた文の形・意味・用法を理解し, 疑問詞を正しく使い分けて質問する技能を身につける。 |   |
|         | Unit 4<br>Friends in New Zealand<br><br>Grammar for<br>Communication 3 | ●疑問詞 How many ...?や What + 名詞 ...? の疑問文, 命令文の形・意味・用法を理解し, 数や時刻, することなどについて, 簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたり, 指示や助言をする技能を身につける。<br>●名詞の形・意味・用法を理解して, ものの数などに合わせて, 名詞を正しい形で使う技能を身に着ける。                         |   |
|         | Stage Activity 1<br>“All about Me” Poster                              | ●Unit 4 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。自分が好きなことについて情報を整理してつながりのある文章を書く。   |   |
|         | 2<br>学期  | Unit 5<br>My Brother in Hawaii<br><br>Grammar for<br>Communication 4   | ●三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解し, クラスメートなど身近な人について, 事実や自分の考え, 気持ちなどを簡単な語句や文を用いてたずねたり答えたりする技能を身につける。<br>●三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を理解している。家族や身近な人について, その人がしていることや好きなものを, 三人称単数現在形を用いて表現する技能を身につける。 |

|   |   |  |
|---|---|--|
|   | Unit 6<br>A <i>Rakugo</i> performer from the U.K.   | ●代名詞や疑問詞 <i>which, whose</i> を用いた文の形・意味・用法を理解し、人やものについてたずねたり答えたりする技能を身につける。  |
|   | Grammar for Communication 5   | ●代名詞の形・意味・用法を理解し、人やものについて話題を展開する際に、適切な代名詞を使い分ける技能を身につける。   |
|   | Unit 7<br>An Online Tour of the U.K.  | ●現在進行形を用いた文や感嘆文の形・意味・用法を理解し、人が今していることについてたずねたり答えたり、感動や驚きの気持ちを伝え合う技能を身につける。   |
|   | Grammar for Communication 6   | ●現在進行形を用いた文の形・意味・用法を理解し、現在の動作について伝える技能を身につける。  |
|   | Unit 8<br>Think Globally, Act Locally   | ●不定詞(名詞的用法)や <i>(look+形容詞)</i> を用いた文の形・意味・用法を理解し、したいことや人やもの様子について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につける。                               |
| Stage Activity 2<br>My Hero                     | ●Unit 8 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解し、好きな有名人やあこがれの人について、どんな人かを理解したり、その人についてたずねたり説明したりする技能を身につける。 |  |
| 3<br>学<br>期                                     | Unit 9<br>Winter Vacation   | ●一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解し、過去の出来事について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につける。   |
|   | Grammar for Communication 7   | ●一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解し、過去の出来事について、過去にしたことを伝える技能を身につける。   |
|   | Unit 10<br>This Year's Memories   | ● <i>be</i> 動詞の過去形や過去進行形、 <i>There is [are] ...</i> を用いた文の形・意味・用法を理解し、過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことを伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につける。 |
|   | Grammar for communication 8   | ● <i>be</i> 動詞の過去形や過去進行形を用いた文の形・意味・用法を理解し、過去の状態やある時点での動作について伝える技能を身につける。   |
| Stage Activity 3<br>My Favorite Event This Year | ●Unit 10 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解し、思い出に残った出来事について、Unit10 までの学習事項を用いて発表する技能を身につける。            |  |

### 3. 評価

| 観 点           | 評価の内容   | 評価の方法                                    |
|---------------|---|--|
| 知識・技能         | 英語の特徴やきまりに関する事項を理解する力、事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝え合ったりする技能を評価します。 | 定期テスト・単元テスト・ワークシート・パフォーマンステストなどで評価します。   |
| 思考・判断・表現      | 事実や自分の考え、気持ちなどを表現したり伝え合ったりする力、必要な情報や概要、要点をとらえる力を評価します。      | 定期テスト・単元テスト・パフォーマンステストなどで評価します。          |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 粘り強く英語の学習に取り組む姿勢と、自己分析して学習を調整しようとしている姿勢を評価します。              | 定期テスト・単元テスト・ノートやワーク・授業の振り返り・観察法などで評価します。 |

上記に示した3つの観点から総合的に評価し、成績とする。

#### 4. 学力向上のためのアドバイス

まずは授業に真剣に取り組む、その日の学習内容を授業内で理解できるようにしましょう。間違いを恐れず発表したり、教科書やワークの QR コードを使用して正しい発音を確認しながら、意欲的に声を出して発音練習をしたりしましょう。先生の話や友だちの発表を集中して聞き、しっかり課題に取り組むようにしましょう。毎日のアップルタイムやハッピーテストにも集中して取り組み、テストの結果から、自分の取り組むべきことを見つけ、自主学習にも取り組みましょう。自主学習では、単語練習やワークの反復練習をしたりするなど、家庭学習の習慣を身につけて、継続して計画的に学習に取り組むことが必要です。分からないことはいつでも教科担当の先生に相談してください。